

令和6年度第2回大阪府企業立地促進補助金審査会（府施策との整合性審査）

概要

日 時	令和7年3月27日（木）13時30分から16時00分まで		
場 所	大阪府咲洲庁舎24階会議室（大阪府が指定するWeb会議室）		
案 件	2件		
審査委員	大阪商業大学大学院 地域政策学研究科		
（敬称略）	大阪商業大学 総合経営学部 教授	太田 一樹（会長）	
	エタニティラボ 代表 中小企業診断士	岡崎 永実子	
	大阪公立大学大学院 工学研究科 教授	荻野 博康	
	摂南大学 経営学部 准教授 ※欠席	木下 和紗	

【内容審査】

・外資系企業等進出促進補助金

- 1 立地する事業所で実施する事業内容
 - （1）雇用計画の実現性等
 - （2）府内産業への波及効果
 - （3）事業計画の実現性等
- 2 立地する事業所の機能・役割
- 3 立地企業の経営基盤等
 - （1）経営基盤
 - （2）事業実績

・府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

- 1 立地する事業所で実施する事業内容
 - （1）雇用の拡充
 - （2）生産性・効率性の向上度
- 2 立地する事業所の機能・役割
- 3 立地企業の経営基盤等
 - （1）経営基盤
 - （2）経営改善や人材育成等の取り組み状況
 - （3）事業実績

加点項目

今後に向けた取り組み

【1】安達車載電子株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

- （1）事業概要
 - 自動車用電子部品製造業の事業所の賃借
 - 立地場所／延べ面積
大阪府摂津市鳥飼本町／861.84 m²
 - 補助対象経費／補助金額
31,200 千円／10,400 千円

(2) 補助金の種別 …… 外資系企業等進出促進補助金

(3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

○審査方法

- ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）、また加点項目を3段階評価（3点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと（ただし、評価点は最大30点とする）

○審査結果

- ・各委員が評価した結果、評価点の平均が23点（30点中）であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

- ・補助金の趣旨には合致していると思われる。ただし、日本国内での取引先が確定していないため、当初の売上計画が達成できるか、また、府内産業への波及効果や雇用計画の達成にやや懸念が残る。
- ・交通の安全に資する装置の製造・販売を計画しており、日本での法制化が進めば事業の拡大が期待できる。
- ・欧米への輸出も見込んでの拠点であり、事業計画は一定の根拠をもって作成されていることから、今後の事業発展や府内での雇用増加が期待できる。
- ・高い製品品質における強みを保有している。現状日本や欧米でのシェアがほとんどなく計画の売上高を確保できるか疑問ではあるが、既に日本企業への営業活動を実施しており、今回設ける拠点を足掛かりに発展していただきたい。

【2】株式会社布施化学工業による事業計画に係る府施策との整合性審査

(1) 事業概要

○プラスチック製品加工業の新工場の立地

○立地場所／敷地面積／延べ面積

東大阪市柏田西／1,769.23 m²／2,226 m²

○補助対象経費／補助金額

約452,000千円／30,000千円

(2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

(3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

○審査方法

- ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと

○審査結果

- ・各委員が評価した結果、評価点の平均が25点（30点中）であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

- ・70年間で培われた技術と信用を踏まえた事業計画だと思われる。妥当な計画だと判断できる。ただし、120名への増員が達成できるかにはやや懸念が残る。
- ・事業所の拡大に伴い、生産性・効率性の向上が期待できる。

- ・現状でのタイムロスや生産能力に制限があるなどの問題点を解決でき、大型製品の生産が可能となることや、廃業した他社の受け皿としての受注もあることなどから、売上高拡大が期待できる。
- ・さらに注力する分野をしっかりと計画していくことが望ましい。